

地域移行の推進にかかる取組状況について

1 地域移行ワーキング会議の設置

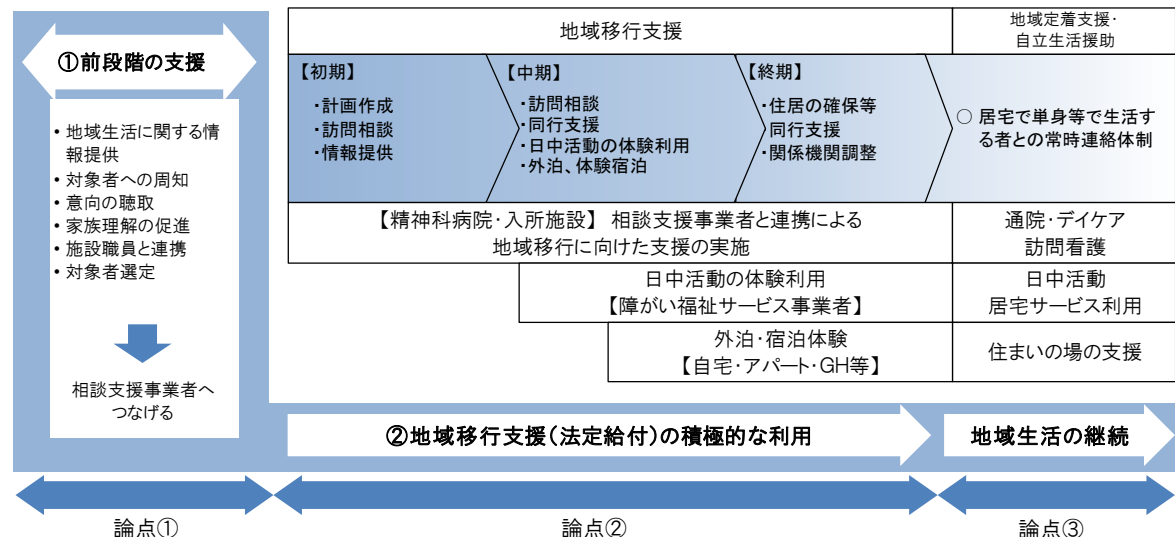
障がい者支援施設入所者や施設職員等に向けた地域生活への移行に関する情報提供等の取組などについて、今後の具体的な進め方等を検討していくため、ワーキング会議を設置して検討を実施

2 検討の内容

入院・入所中から地域生活へ移行するまでを、3つのフェーズに分けて論点整理

①「前段階の支援」 → ②「地域移行支援段階」 → ③「地域定着段階」

【地域生活への移行に向けた支援の流れ(イメージ)】



論点① 前段階の支援

- 施設入所者、精神科病院入院者の状況等の把握
- 施設入所者、精神科病院入院者への働きかけ（情報提供）
 - 地域生活や地域移行に関するイメージの不足
 - 外出体験、社会体験、地域との交流の機会の少なさ
- 施設職員等への情報提供
- 家族への働きかけ
- 本人への意思決定支援
- 地域移行支援を提供する指定一般相談支援事業者への繋ぎ（コーディネート）

≪平成30年度取組内容≫

精神障がい者地域生活移行推進事業（委託） 別添①

論点② 地域移行支援の積極的な利用

- ・入所施設と相談支援事業者の連携の強化
- ・地域移行支援の推進（交通費、体験利用制限、宿泊体験を行う場所の確保等）
- ・地域移行支援事業者の量的・質的な確保

《平成 30 年度取組内容》

地域移行支援利用交通費給付事業 別添②

論点③ 地域で暮らすための受け皿づくり

- ・困難ケース等にも対応した地域での受け皿の量的・質的確保
- ・地域生活の支援に向けたネットワークの構築
- ・地域における相談支援サービスの充実
- ・地域での生活が困難となった場合の対応

《平成 30 年度取組内容》

各区障がい者相談支援センターの機能強化＜H30 年度から基幹相談支援センター化＞

大阪市障がい者相談支援調整事業において困難事例等への対応のため、区障がい者基幹相談支援センターへスーパーバイザー派遣

3. 今後の進め方について

施設入所者の円滑な地域移行を進めるためには、入所施設等と障がい者基幹相談支援センターとの顔の見える関係づくりが重要であることから、次の取組を実施

①障がい者基幹相談支援センターと障がい者支援施設との連携強化

- ・地域ごとに入所施設を担当する区障がい者基幹相談支援センターを設定
- ・各障がい者基幹相談支援センターが定期的に各施設を訪問し連携を強化したうえで、障がい者基幹相談支援センターや地域移行支援等についての説明を実施
- ・施設入所者より地域生活についてもっと知りたい等の希望があれば個別に説明

②地域移行支援に関するパンフレットを作成（改編）